

# 新しい郵便「ゆうあーと」の提案

民輪 千春

[指導教員：武庫川女子大学講師 北原 摩留]

キーワード：手紙、封筒、切手、消印、郵便

## 1. 背景

手紙を出すには、手紙を入れた封筒に切手を貼って、郵便局で消印を押してもらい、配達員に届けてもらう必要がある。EメールやLINEのようにリアルタイムで相手と文字によるコミュニケーションが取れるようになった今、手間と時間がかかる手紙をわざわざ出す人は少なくなってしまった。しかし、それでも手紙を出すという文化がなくなったわけではない。私自身も、遠く離れたところに住んでいる友人や、家族、恩師などに手紙でも出してみようか、と時々思うものである。その時は自分のお気に入りの素敵な封筒と便箋を用意して、時間をかけて丁寧に文字を書く。反対に受け取る側になると、そうやって届いた手紙はやっぱり嬉しく感じる。しかしいつも手紙を書く際に気になることがあった。それは封筒と切手と消印の関係である。

封筒は可愛いものや、シンプルなもの、レトロな雰囲気のものなど、たくさんのデザインが販売されている。同様に切手も、自然の風景が描かれているものや、記念切手のような特別なデザインのものが販売されている。消印に関しては、風景印など季節や土地柄を表した消印はあるが、大半が意匠性のないもので占められている。そして、これらの3点は現在別々にデザインされている。最終的に受け取る人が手紙の入った封筒を見る時、封筒、切手、消印が同時に目に入るはずである。それにも関わらずデザインに統一性がないという現状は、せっかくの手紙の見た目を損なわせているのではないかと思う。そこで、この3つをトータルにデザインする提案を行うことにした。

## 2. 目的

「封筒、切手、消印のデザインは揃っていないと当然」という現在の概念を無くし、これらをトータルでデザインすることで手紙の観賞としての価値を高める。手紙を受け取った瞬間から封を開けるのが楽しみになり、いつまでも大切に取っておきたいと思うような印象に残るものにする。また、普段手紙を書かないような人も、わざわざ誰かに手紙を送りたくなるようなものを目指す。

## 3. 類似事例「絵封筒」

### 3-1 絵封筒の概要

絵封筒とは、イギリスの絵本作家たちから始まったものである。切手を工夫して貼っているものだったり、封筒に絵が

描かれていたり、コラージュしてあったり、相手のことを想って封筒にひと手間加えてあれば、絵封筒になるのである。楽しさだけでなく心が伝わる素敵な遊びとして日本でも親しまれている。

### 3-2 絵封筒のルール

切手は表だけに貼ること、差出人氏名・住所等は裏側に書くことがルールとなっている。

## 4. 「ゆうあーと」概要

想いのこもった手紙であるからこそ、封筒、切手、消印にもこだわった郵便物を提案する。現状、これらの3点が別々にデザインされており、せっかくの手紙の見た目を損なわせているという問題を踏まえ、封筒と切手、消印が揃うことで1つの絵が完成するようなものにする。また季節の変わり目や、引っ越しや旅行の時など、節目となる時にふと立ち止まって遠くにいる人のことを考え、手紙を書くきっかけになってほしいという想いから、種類は都道府県毎に、また季節によっても絵柄が変わるようにする。コンセプトは「記憶に残る手紙」である。差出人が想いを込めて書いた手紙だからこそ、その想いが同じように受取人にも伝わってほしい、そんな気持ちからこのようなコンセプトにした。封筒と切手、消印の3つが揃うことで1つの絵＝アートが完成すると捉え、郵便の「ゆう」と合わせて、初めて聞いた人でも何となく郵便に関係することだと分かる様に分かりやすいサービス名にした。パッケージはロゴマークだけのシンプルなデザインにし、封筒や切手の見せ方を工夫した。販売場所は通常の郵便局での販売だけではなく、コンビニや駅構内のお土産売場で、封筒と切手1つずつ入ったものを1セット税込み324円で販売する。

## 5. 今後の課題

制作を通して、商品名とロゴマークでどれだけ消費者にその商品やサービスの内容をイメージさせられるかの重要性を感じた。また、パッケージを製作する際の市場調査も大事であると感じた。商品をより魅力的に見せるには、他の商品がどのように陳列されているかを把握したうえで見せ方を考えていく必要があった。今後、より適切なものを生み出していくために制作の過程を見直すことが課題となった。

## 参考文献

・efuto.com, <https://efuto.com/> (2018/01/09)



図1 ゆうあーと

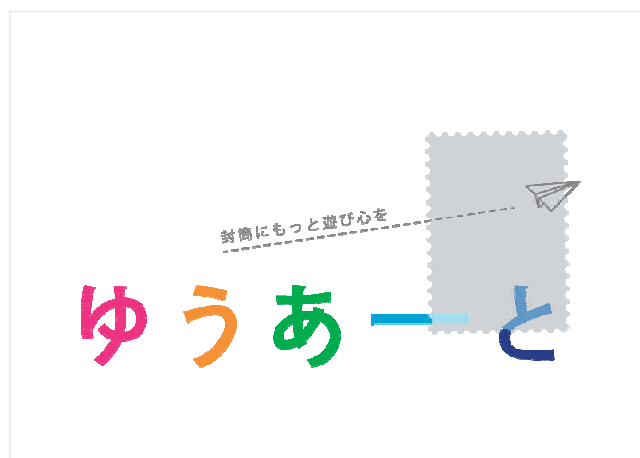


図2 ロゴマーク



図3 パッケージ



図4 使用シーン1



図5 使用シーン2